



Q：認知症について教えてください。(MRSN)

A：年を取ると皆認知症になる訳ではありません。アルツハイマー型認知症は、βアミロイド蛋白(タンパク)と呼ばれる異常なタンパク質が脳神経細胞に蓄積して、通常の老化以上に脳の働きを低下させ、脳萎縮を進行させるのが原因と考えられています。その理由はよくわかっておらず、認知症を根治させる薬はまだありません。

記憶障害や見当識障害は、脳神経細胞が障害されて神経伝達物質であるアセチルコリンが減るためという説に基づいて、アセチルコリンを分解

する酵素の働きを抑えることで、アセチルコリンの働きを強める薬・アセチルコリンエステラーゼ阻害薬(薬剤名：ドネペジル塩酸塩)が実用化されましたが、効果としては病気の進行を少し遅らせる程度というのが現状です。認知症の予防として、①βアミロイド蛋白の蓄積を阻止するといわれる抗酸化物質のビタミンEや、魚油の成分であるDHAなどを摂取すること、②



③人とよくお付き合いをする、④意欲を持って生活することが重要と言われています。

(岡田俊一・おかだ内科クリニック院長、甲府市北口2-9-12、ニッコー北口駅前ビル2F)

TEL0555・2888・1801